



ホーム喫茶の楽しみの一つは、メニュー表から自分の好きなスイーツや飲み物を選べることです。予め決まっているメニューで提供される普段の食事は、「今日は何かな」という楽しみはありますが、自分で選んだものはありません。スイーツだけでなく、ペットボトルに入ったジュースや紅茶でも、自分で選ぶと、「飲みたい」という気持ちがいよりの大きくなります。

人気だったのは、やっぱり季節限定、洋菓子専門店のパンプリンでした。その他にも、甘い食べ物が多かったので、紅茶が飛ぶように売れました。



**スイーツはハロウィン色を**

楽しいスイーツですが、数種類から好きなものを選んでもらうようにしても、刻み食やミキサー食の方は、毎回同じようなプリン類に偏りがちです。そこで、今回は食形態に制限がある方でも、より楽しんでいただけるように、ハロウィン限定のカボチャやお化けのカップに入ったプリンを洋菓子専門店に注文しました。プリンの中には果物のソースが入っており、上にはクリームが乗っています。おまけにディズニーの小さな旗飾りまで付いていて、見た目も華やかでした。特別なプリンにしたことで、普段、表情を表に出さない方も、思わず「わあ」と目を見開いて見つめる様子が見られました。



### 東京都初の日本遺産「高尾山」に行った気分で 美味しいスイーツを楽しみました

今話題のGO TO。秋に因んだテーマを考えたときに、秋……紅葉……登山……高尾山と連想が進んでいきました。そうだ！ご利用者のみなさんに身近な高尾山に行った気分で、季節物のスイーツを味わっていただくこう！

今回のテーマは、こんな想いから生まれた企画です。

テーマに基づいて、各フロアの装飾や小道具などを考えるのは、五・六・七階それぞれから選出されたケアワーカーと、リハビリ職、ナース、生活相談員の代表計九名で構成する企画運営担当です。外出機会がどうしても少なくなるご利用者に、少しでも季節や楽しみと思う気持ちを感じてもらおう。そこで、当日までに、紅葉とハロウィンの写真やイラスト素材を集め、柱や壁に飾りつけました。

アクセントや記念撮影用の小物として、造花ではあったものの、紅葉や栗、



柿等季節のものを用意することで、より季節を感じていただけたと思います。飾り付けをしていると、「もう秋か」「キレイだね」「美味しいものが食べたいね」と言われ、喫茶を心待ちにしている気持ちがいよりの大きくなりました。また、当日の企画運営担当スタッフの衣装は、山ガール・山ボーイファッション。チェックシャツ、白のTシャツ、ジーンズで統一してみました。

特別養護老人ホーム白楽荘のご利用者が楽しみにしている行事に「ホーム喫茶」があります。年数回、テーマを決め、室内装飾を施した空間で、飲み物やスイーツなどをご自身で選び、召し上がっていただきます。今号では、十月二十五日（日）に開催したホーム喫茶《GO TO高尾》の様子をご紹介します。



記念写真を台紙に貼ってご家族に郵送  
絵やイラストで飾り付けた全員の写真はフロアの壁に掲示

新型コロナウイルス感染症の影響で、ご家族との面会制限やボランティア活動受け入れ休止が続いています。例年のホーム喫茶は四階の多目的スペースでご家族の方も一緒に参加して、季節のスイーツやテーマに合わせた職員のコスプレパフォーマンスを楽しんでいただいています。

ご利用者と職員だけで開催したホーム喫茶。ご利用者のとっておきの笑顔や、紅葉やハロウインの雰囲気の中で過ごしている様子を写真に撮り、特製の台紙に貼って、ご家族に郵送しました。カメラマン役のケアワーカーは、おひとりおひとりの雰囲気に合わせて、手に持っていた小物を選んで、背景が生きる位置取りをし、りと、シャッターを切るまで、工夫の連続です。

カメラマン以外の職員も、ご利用者を順番に撮影コーナーにご案内するだけでなく、より素敵な笑顔を頂くために、声をかけたり、手を振ったりして、シャッターチャンスを引き出します。



写真撮影コーナーの装飾と演出は、各フロア毎でそれぞれ工夫を凝らしています。右写真は六階の様子です。エレベーターホールの壁に、「日本遺産」のシンボルマークと「霊気満山 高尾山々人々の祈りが紡ぐ桑都物語」のテーマ、全山紅葉の写真と秋の彩りイラストを組み合わせた力作です。

七階はハロウイン色を色濃くだし、五階は広いテラスがある立地と当時の好天を活かして、外の空気を感じながらの撮影でした。

各フロア共、ご利用者との会話の中で、高尾山やハロウインについての会話をすることもできました。

好天の下、テラスでの活動も

ホーム喫茶が行われた十月二十五日(日)は風もない穏やかな秋晴れでした。フロア企画の中で、東西南北、施設壁沿いに一周しているベランダでお散歩を兼ねたクイズ



ズラリ風風のコーナーを設けた企画もありました。

右写真の三択クイズ「高尾山で見られるものは？」の選択肢は「①いのしし」、「②美空ひばり」、「③未来の自分」です。みなさんは、何番を選びますか。

写真の方は、「③未来の自分」でした。自

然に触れてリフレッシュすると、未来への道が見えてくるよね、いいね!と職員との会話も広がっていきました。

企画運営担当スタッフの思い

ボランティアのみなさんによる音楽演奏などの楽しみが途絶えてから半年以上になります。ご家族との面会制限もあり、各フロアで暮らしているご利用者の方に、いかに楽しく充実した日々を過ごしていただくか。日常のご利用者とのやり取りなどで、職員一人ひとりが、それぞれのキャラクターを活かしながら、仕事をしています。

日常業務にプラスアルファになるホーム喫茶の準備ですが、ご利用者のみなさんの笑顔で大きな達成感を得ることができました。それでも、「午前中にも何か出し物を行って、午後におやつを楽しむような企画を考えてもよかったかなあ」「おやつを召し上がっている間の時間、退屈をされていた方もいたため、職員による出し物や何か企画を考えたいほうが良かったかなあ」など、反省点もあります。

次に実施するホーム喫茶は、別の職員が企画運営担当になって、取り組みます。今回の良かったこと、反省点などを次につなげ、「白楽荘で暮らすのがいいね!」をたくさんいただけるような取り組みを続けていきます。

高尾山よりもハロウィン!?

ホーム喫茶が開かれた10月25日から1週間後の10月31日はハロウィン。7階では、ハロウィン好きの職員が仮装用のマスクや小物を用意しました。不気味な小物でも、普段と雰囲気が変わり、喜んでいただくことができました。

メニュー受付職員のネックレスもハロウィン仕様です。

